

# Artist Pro 19 (Gen 2) 液晶ペンタブレット

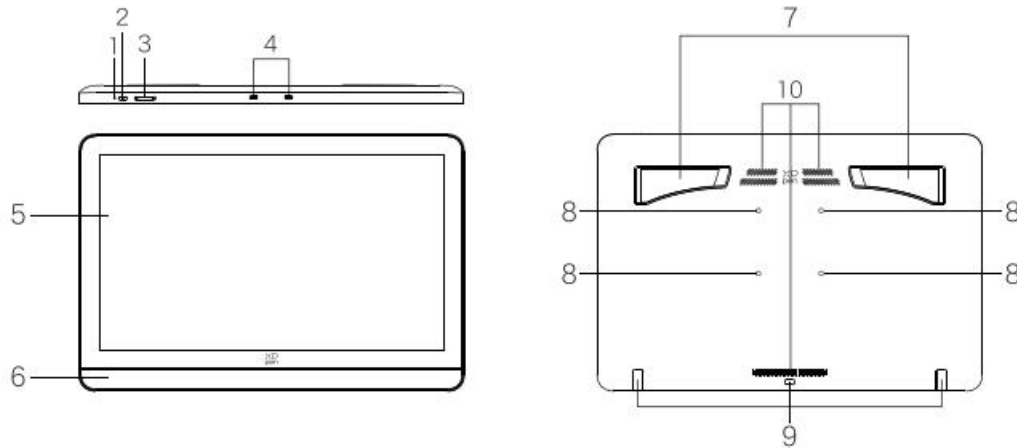
## コンテンツ

紹介.....	3
1. 製品概要.....	3
2. アクセサリー.....	3
3. 接続方法.....	4
3.1 USB-C 接続.....	4
3.2 3in1 接続.....	4
3.3 Android デバイス接続.....	5
4. ワイヤレスショートカットリモート接続.....	5
4.1 有線接続.....	5
4.2 Bluetooth レシーバー接続.....	6
4.3 Bluetooth 接続.....	6
5. 互換性.....	6
製品設定.....	7
1. ドライバのダウンロード.....	7
2. ドライバのインストール.....	7
2.1 Windows.....	7

2.2 Mac.....	7
2.3 Linux.....	8
3. ドライバの説明.....	9
3.1 デバイス接続.....	9
3.2 デバイス切り替え.....	10
3.3 ドライバ設定.....	11
4. ドライバのアンインストール.....	34
4.1 Windows.....	34
4.2 MacOS.....	34
4.3 Linux.....	34
<b>よくある質問.....</b>	<b>35</b>

# 紹介

## 1. 製品概要



### 1. インジケータランプ

- 1.1 電源ボタンを押して電源を入れます。電源が入ると、インジケータランプがブルーで常時点灯します。電源ボタンを押すと電源が切れます。
- 1.2 待機モードはオレンジで常時点灯します。
- 1.3 ペンタブレットモードでは、電源ボタンを3秒間長押しすると、インジケータランプがブルーとオレンジで交互に点滅します。もう一度電源ボタンを押すと、通常モードに戻ります。

### 2. 電源ボタン

### 3. 輝度+/輝度-

### 4. フル機能のUSB-Cポート \*2

### 5. デイスプレイ/作業エリア

### 6. リストレスト

### 7. 折りたたみ式スタンド

### 8. 拡張可能な VESA ブラケット 取付穴 (75\*75mm)

### 9. シリコン滑り止めパッド

### 10. 通気孔

## 2. アクセサリー

-H11 ペンケース \*1

同梱:

X3 Pro ローラースタイラス \*1

X3 Pro スリムスタイラス \*1

ワイヤレスショートカットリモート用 Bluetooth レシーバー \*1

スリムスタイラス用交換可能なボタンキャップ \*1

スリムスタイラス用標準替え芯 \*4

ローラースタイラス用標準替え芯 \*2

- ローラースタイラス用フェルト 替え芯 \*2
- 替え芯抜き \*1
- 3in1 ケーブル \*1
- USB-C to USB-C ケーブル \*2
- USB-C to USB-A ケーブル \*1
- PD 電源アダプター \*1
- ワイヤレスショートカットリモート ACK05 \*1
- 2本指グローブ \*1
- クリーニングクロス \*1
- 替え芯バッグ \*1

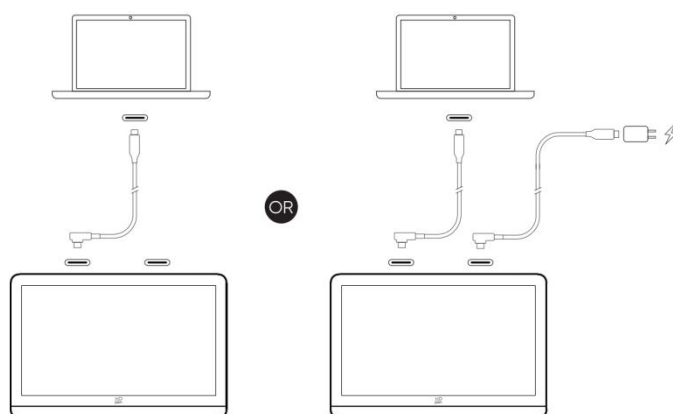
同梱:

- スリムスタイラス用標準替え芯 \*5
- ローラースタイラス用標準替え芯 \*5
- ローラースタイラス用フェルト 替え芯 \*5

## 3. 接続方法

### 3.1 USB-C 接続

液晶ペンタブレットを USB-C to USB-C ケーブルでコンピュータに接続します。液晶ペンタブレットが点灯しない場合は、別の USB-C to USB-C ケーブルを使用して液晶ペンタブレットを電源アダプターに接続して外部より給電してください。



### 3.2 3in1 接続

#### 3.2.1 3in1 ケーブルを使用してコンピュータに接続

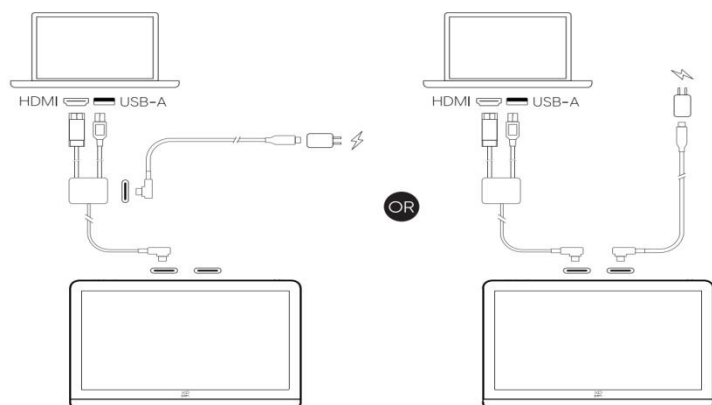
3in1 ケーブルを使用して、HDMI ポートと USB-A ポートを介して液晶ペンタブレットをコンピュータに接続します。

#### 3.2.2 USB-C to USB-C ケーブルを使用して電源に接続

オプション 1: USB-C to USB-C ケーブルを使用して、3in1 ケーブルの USB-C 電源ポートと PD 電源アダプターを接続します。

オプション 2: USB-C to USB-C ケーブルを使用して、液晶ペンタブレットのもう一方の USB-C ポートと PD 電源アダプターを接続します。

\* コンピュータに複数の HDMI/DP インターフェースがある場合は、独立グラフィックスボードのインターフェースに接続してください。

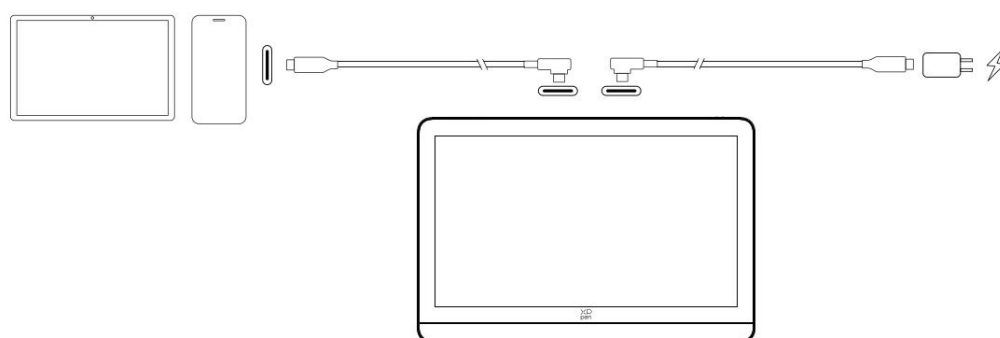


### 3.3 Android デバイス接続

3.3.1 USB-C to USB-C ケーブルを使用して、液晶ペンタブレットを Android デバイスに直接接続します。

3.3.2 別の USB-C to USB-C ケーブルを使用して、液晶ペンタブレットを電源アダプターに接続します。

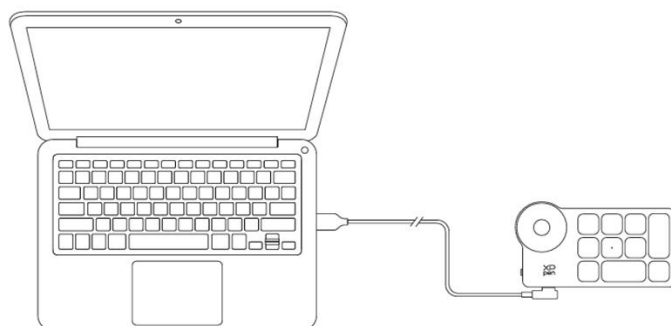
\* 対応の Android スマホ/タブレットのモデルを確認するには、XPPen 公式ウェブサイトの情報を参照してください。



## 4. ワイヤレスショートカットリモート接続

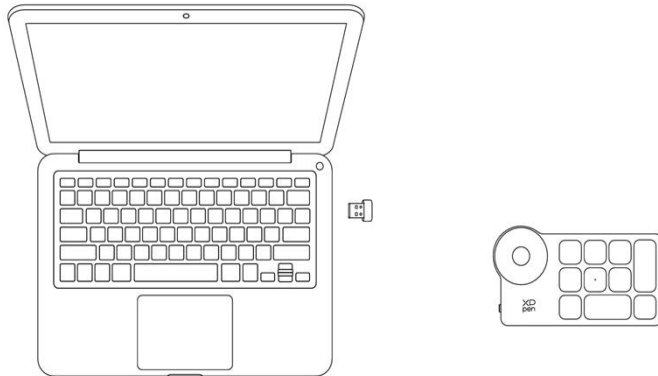
### 4.1 有線接続

USB-C to USB-A ケーブルを使用して、ワイヤレスショートカットリモートをコンピュータに接続します。



## 4.2 ワイヤレスレシーバー接続

ワイヤレスレシーバーをコンピュータに差し込み、電源スイッチをスライドさせると、インジケータランプがブルーで常時点灯します。ブルーのインジケータランプは 30 秒後に消灯します。

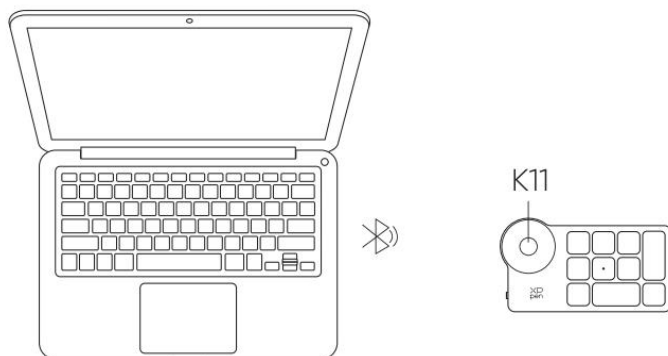


## 4.3 Bluetooth 接続

4.3.1 電源スイッチをスライドさせると、インジケータランプがブルーでゆつくりと点滅します。この状態で K11 ショートカットキーを 6 秒間長押しすると、Bluetooth ペアリングモードに入り、インジケータランプがブルーで速く点滅します。

4.3.2 コンピュータの Bluetooth をオンにして、Bluetooth デバイスを追加します。ショートカットリモートを検索し、インジケータランプがブルーで常時点灯している状態で、デバイス名をクリックして Bluetooth のペアリングを完了します。インジケータランプは 30 秒後に消灯します。

4.3.3 電源スイッチを再度スライドして電源を切ります。



## 5. 互換性

Windows 7 以降

macOS 10.13 以降

ChromeOS 88 以降

Android (USB3.1 DP1.2)

Linux

# 製品設定

## 1. ドライバのダウンロード

1.1 液晶ペンタブレットが正しくコンピュータに接続されていることを確認してください。

1.2 XPPenのウェブサイト ([www.xp-pen.jp](http://www.xp-pen.jp)) にアクセスし、サポートセクションのダウンロードをクリックします。製品モデルを選択し、お使いのコンピュータシステムに応じて最新のドライバをダウンロードしてください。

1.3 画面の指示に従ってドライバのインストールを完了します。

注意:

a) インストールの前に、すべてのウイルス対策ソフトウェアとグラフィックソフトウェアを閉じてください。

b) コンピュータに他のブランドのドライバがすでにインストールされている場合は、まずそれらをアンインストールしてください。

c) インストール完了後、コンピュータを再起動してください。

d) デバイスの最高の体験を得るために、最新バージョンのドライバを使用することをお勧めします。

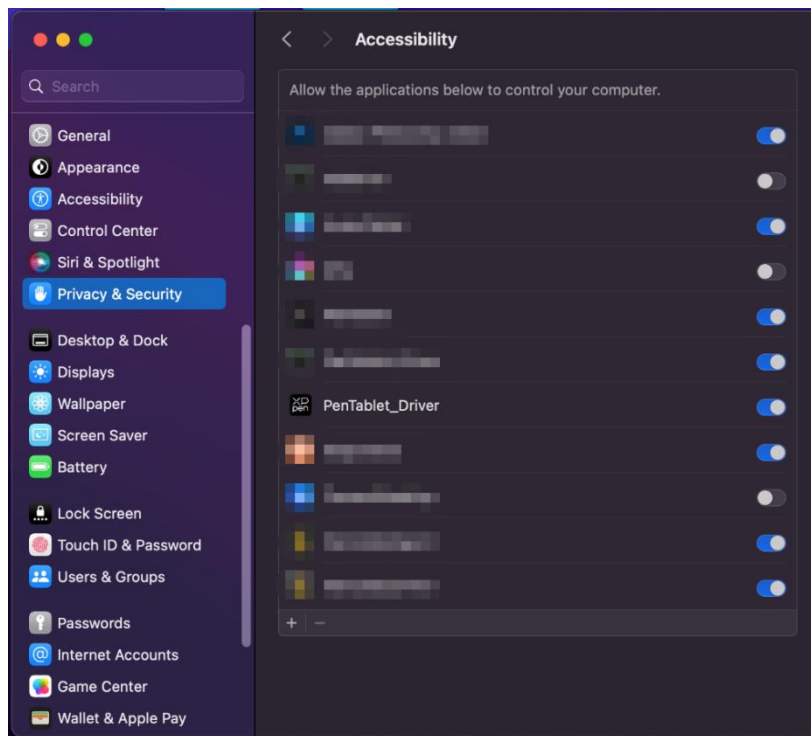
## 2. ドライバのインストール

### 2.1 Windows

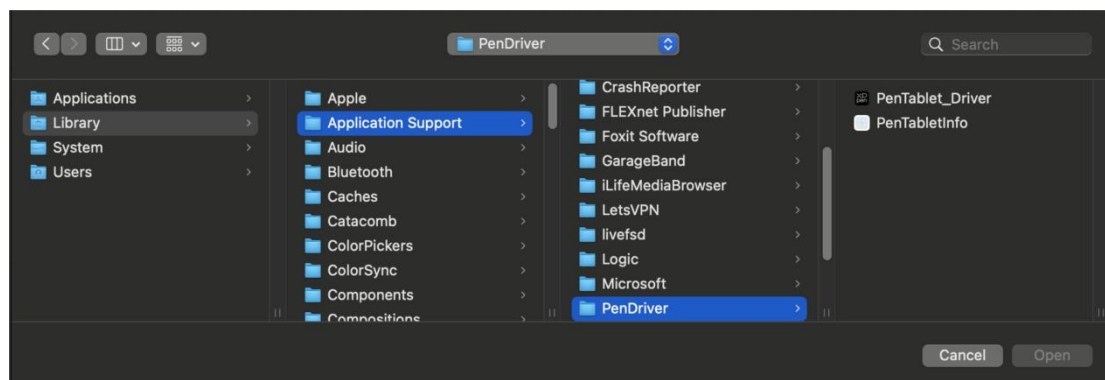
ファイルを解凍します。管理者権限で「exe」ファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールを完了します。

### 2.2 Mac

ファイルを解凍して「dmg」ファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールを完了します。System Settings -> Privacy & Security -> Accessibilities (ワイヤレス: System Settings -> Privacy & Security -> Accessibilities & Bluetooth) に移動し、PenTablet\_Driver オプションがチェックされていることを確認してください。そうでない場合は、デバイスとドライバが正しく機能しない可能性があります。



リストに PenTablet\_Driver がない場合は、resource Library -> Application Support -> PenDriver の順にドライバを手動で追加してください。



## 2.3 Linux

Deb: コマンド「sudo dpkg -i」を入力します。インストールファイルをウインドウにドラッグしてコマンドを実行します。

Rpm: コマンド「sudo rpm -i」を入力します。インストールファイルをウインドウにドラッグしてコマンドを実行します。

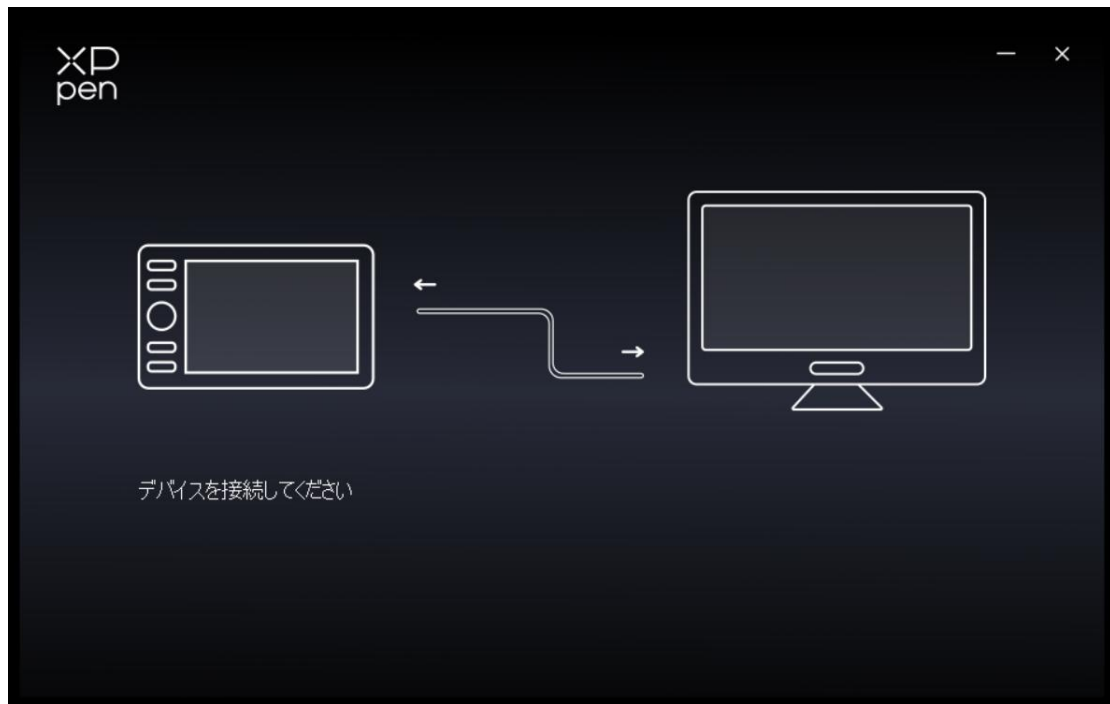
Tag.gz: ファイルを解凍します。コマンド「sudo」を入力します。「install.sh」をウインドウにドラッグしてコマンドを実行します。



## 3. ドライバの説明

### 3.1 デバイス接続

デバイスが接続されていない場合、またはデバイスが正常に接続されていない場合、以下のメッセージが表示されます。この場合は、コンピュータまたはドライバを再起動してお試しいただくか、カスタマーサポートにお問い合わせください。

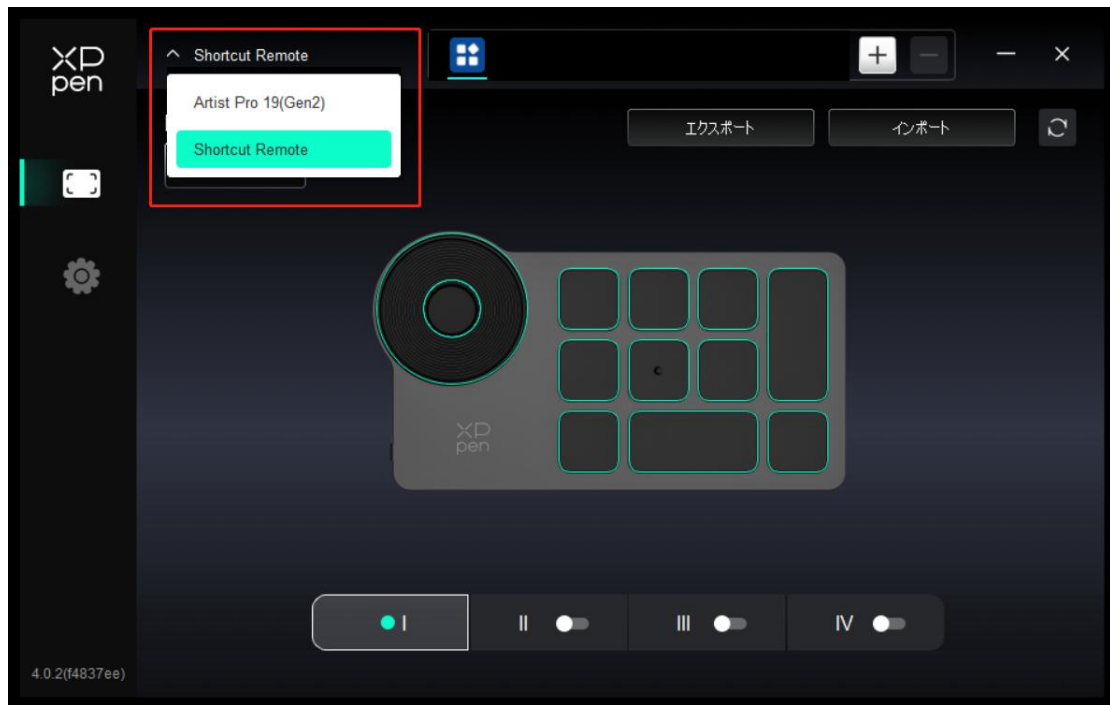


デバイスがコンピュータに正常に接続されると、デバイス名がドライバインターフェースの左上隅に表示されます。



## 3.2 デバイス切り替え

ドライバを使用すると、複数のデバイスを同時に接続できます。特定のデバイスに切り替えた後にそのデバイスの設定をカスタマイズすると、行われたすべての変更はそのデバイスにのみ適用されます。



### 3.3 ドライバ設定

左側のアイコンをクリックすると、ドライバの機能を切り替えることができます。上から順に、デバイス設定、ペンの設定、ドライバ設定です。右上隅にある [デフォルトの復元] ボタンをクリックすると、デバイスがデフォルト設定に戻ります。



### 3.3.1 液晶ペンタブレット設定

#### a) キャリブレーション

いつも通りにスタイラスを持ち、モニタ上の赤い十字の中心をクリックして、スタイラスとカーソルの間のオフセットを校正します。

#### b) 作業エリア

デバイスの作業エリアと画面エリアの間のマッピングを設定します。

#### 画面エリア



現在のモニタのディスプレイエリアとデバイスとのマッピングを設定できます。

複製モードで複数のモニタを使用している場合は、デバイスの作業エリアはすべてのモニタにマップされます。ペンが作業エリアを移動すると、すべてのモニタ上のカーソルが同時に移動します。

拡張モードで複数のモニタを使用している場合は、モニタタブに移動して、デバイスの作業エリアをマップするモニタの1つを選択します。

モニタのマッピングエリアを設定します：

1. フル画面エリアに設定： 選択したモニタのフル画面エリア。
2. 画面エリアのカスタマイズ：



ドラッグしてエリアを選択: カーソルを画面上のあるポイントから別のポイントにドラッグします。

クリックして画面エリアを設定: モニタ上で左上隅の位置と右下隅の位置をクリックして選択します。

座標: X、Y、W、Hの各入力ボックスに座標を手動で入力します。

#### モニタの識別:

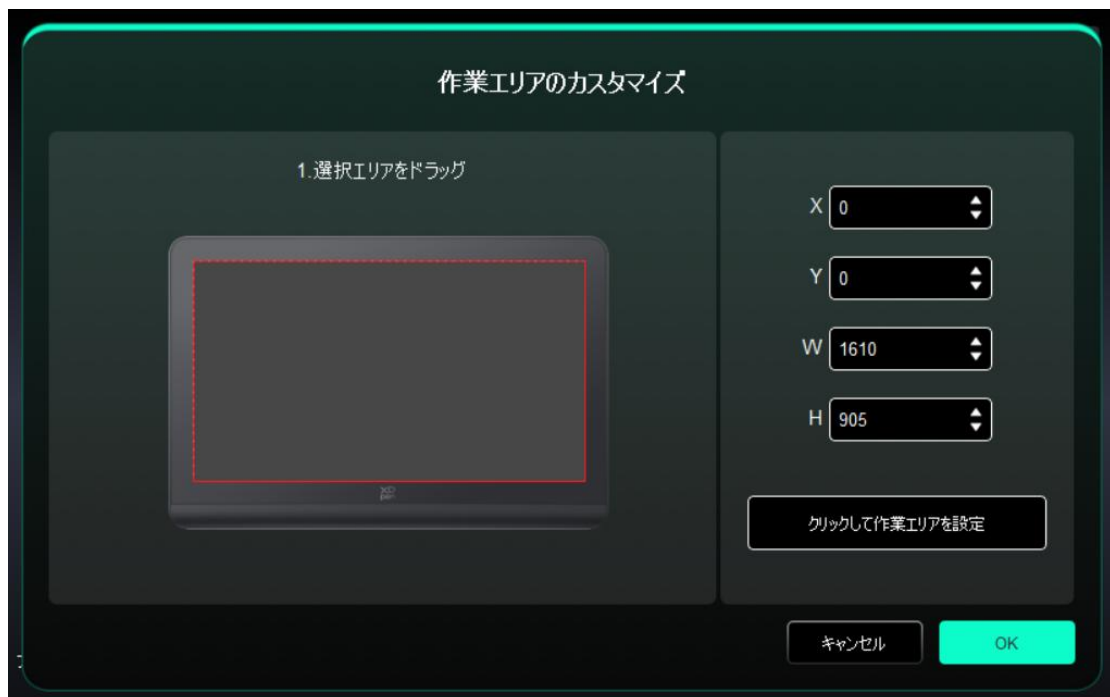
接続されているすべてのモニタを識別します。各モニタの左下隅に数値識別子が表示されます。

#### 液晶ペンタブレット



デバイスの作業エリアを設定します：

1. フル作業エリア：デバイスの作業エリア全体が使用可能です。
2. アクティブエリアのカスタマイズ：



- ドラッグしてエリアを選択: カーソルをデバイス上のあるポイントから別のポイントにドラッグします。
  - クリックしてアクティブエリアを設定: デバイス上でスタイラスを使って左上隅の位置と右下隅の位置をクリックして選択します。
  - 座標: X、Y、W、H の各入力ボックスに座標を手動で入力します。
3. 縦横比: デバイスの作業エリアと選択したディスプレイエリアを比例的に拡大/縮小します。

例: 縦横比を選択した後、デバイスに円形を描くと、画面に円形が表示されるが、作業エリアの一部が使用されない可能性があります。ただし、縦横比を選択せずに円形を描くと、画面上で円形が楕円になる可能性があります。

#### 回転の設定:

デバイスを時計回りに 0°、90°、180°、270°に設定して使用できます。

左利きモード: 180°回転します。

#### a) ディスプレイ設定





輝度、コントラスト比: 対応するスライダーをスライドさせて、輝度とコントラスト比を調整します。

色空間:

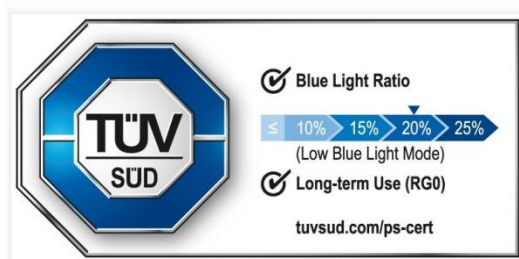
この製品には、sRGB、Adobe RGB、および P3 の3つのカラーモードがプリセットされています。すべてのモードは正確で厳密な色域制限とキャリブレーションを完了しています。そのため、ICCの制限なしで直接使用できます。

ICCを手動で設定する場合は、ドライバインターフェイスのディスプレイ設定オプションでユーザーモードを選択し、ネイティブカラーで設定します。

USERモードでは、色温度を調整することで色空間をカスタマイズできます（色温度でUSERモードを選択すると、R、G、Bの値も調整できます）。



色温度: ドライバは、5000K (低ブルーライト)、6500K (デフォルト)、7500K、9300K、および USER の 5 つのモードを有効にします。



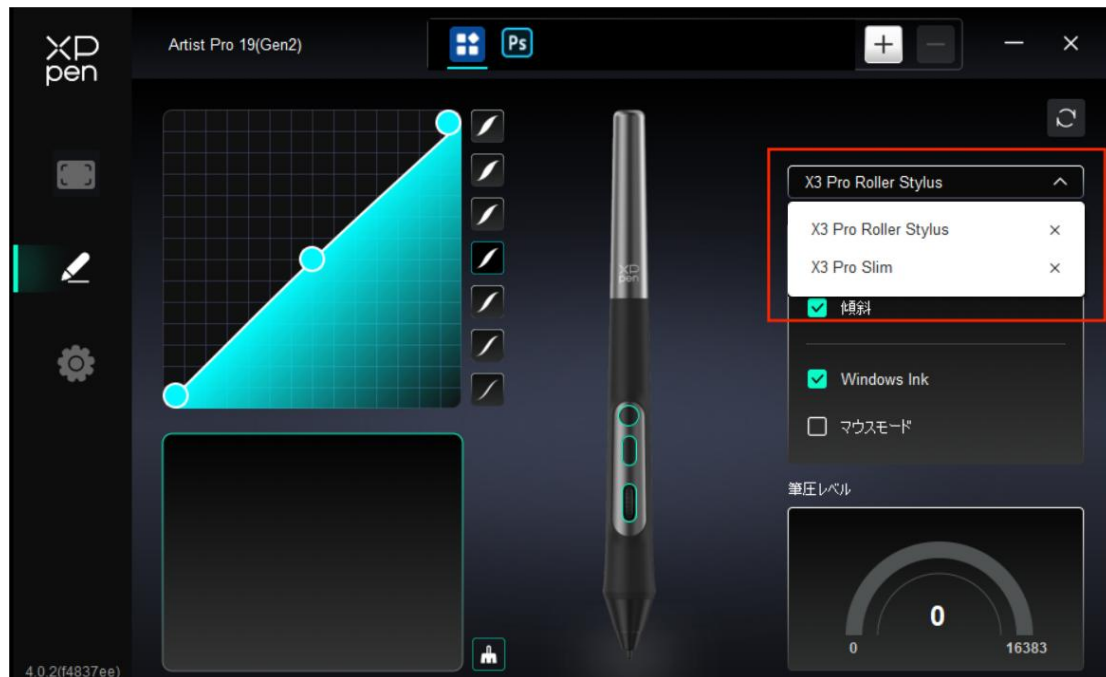
低ブルーライト: 低ブルーライトモードを有効にして、目の疲れを防ぎ、より快適にします。低ブルーライトモードをオンにすると、画面エリアが黄色がかった色合いになることがありますが、これは正常な現象です。製品には低ブルーライト保護モードが内蔵されており、低ブルーライト保護またはその他の色温度設定のいずれかを選択して、このモードを有効または無効にすることができます。

### 3.3.2 ペンの設定

スタイラスが作業エリアにある場合、デバイスはスタイラスを認識してドライバに追加します。使用するスタイラスは、デバイスと互換性がある必要があります。

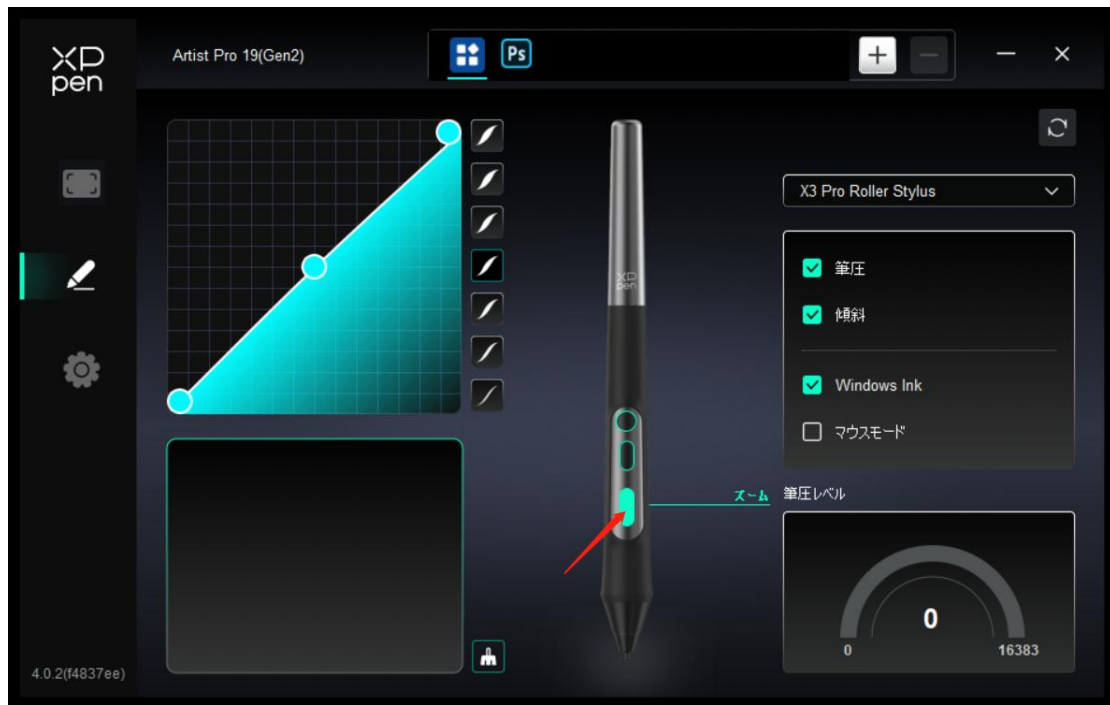
#### a) ペン切り替え

右側のペン名ド ロップダウンメニューをクリックして、対応するスタイラスを選択して設定できます。対応するスタイラスを使用する際に、ドライバは自動的にペンのカスタム設定に切り替わります。



#### b) ペンキー

画像上のペンキーの位置をクリックして、その機能をカスタマイズします。



### キーボードの設定:



キーボードのショートカットキーは設定可能です。例えば、3D MAXでは「Alt+A」に設定すると、位置合わせツールを使用できます。

複数のショートカットキーを設定することもできます。例えば、Ctrl+C、Ctrl+V と入力してキーを押すと、設定された機能がすべて実行されます。

Windows (Command) : システムキーとのキーの組み合わせは追加可能です。例えば、Win (Cmd) +Shift+3 と入力する必要があるとき、Shift+3 を押すとドライバが自動的にシステムキーと一緒に取り込みます。

### カスタム名:

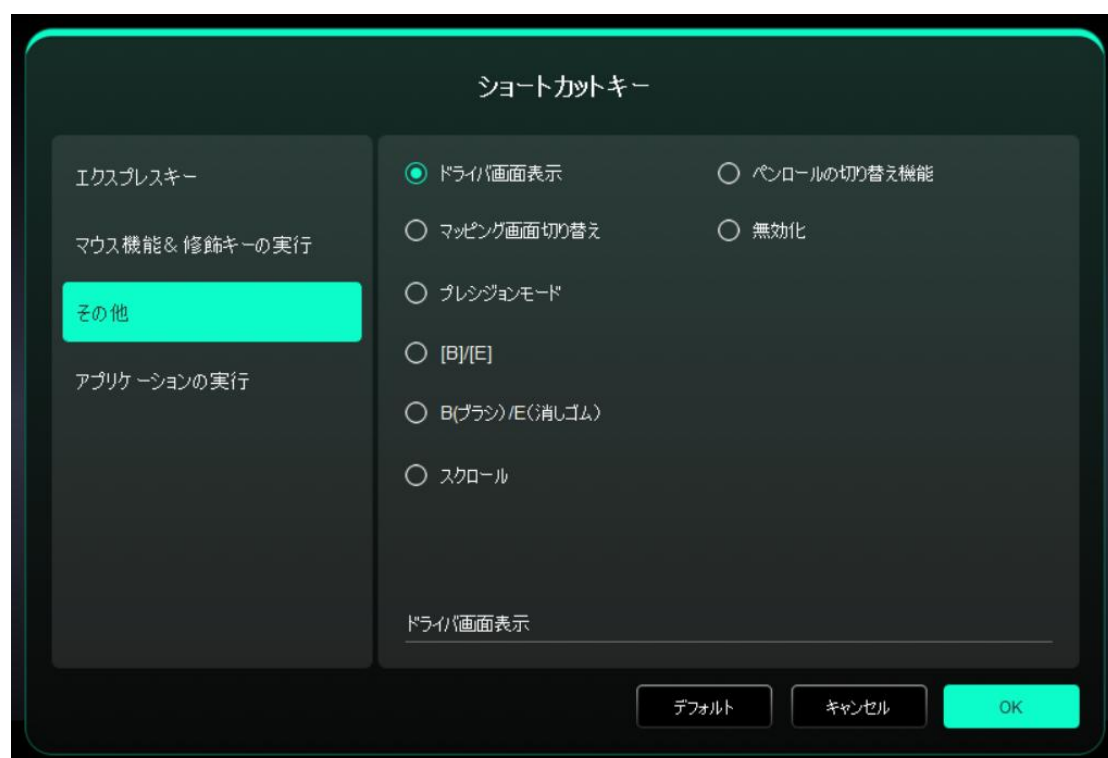
現在の設定の名称をカスタマイズできます。

### マウスでコントロール:



マウスとキーボードのキーの組み合わせを設定します。例えば「Shift」と「左クリック」を選択すると、この組み合わせに対応したアプリケーション上の動作が実行されます。

その他-プレジジョンモード：



ドライバ画面表示：ドライバ設定パネルをすばやく表示します。

マッピング画面切り替え：複数のディスプレイデバイスがある場合は、カーソルを他のディスプレイデバイスにマッピングできます。

プレジジョンモード：画面のアクティブエリアを特定の範囲に制限し、そのエリアに対してより詳細な描画を行います。

スクロール：対応するボタンを押すと、ペンを使用してスクロール機能を実現できます

アプリケーションの実行：



ショートカットキーを使用して、対応するアプリケーションをすばやく起動します

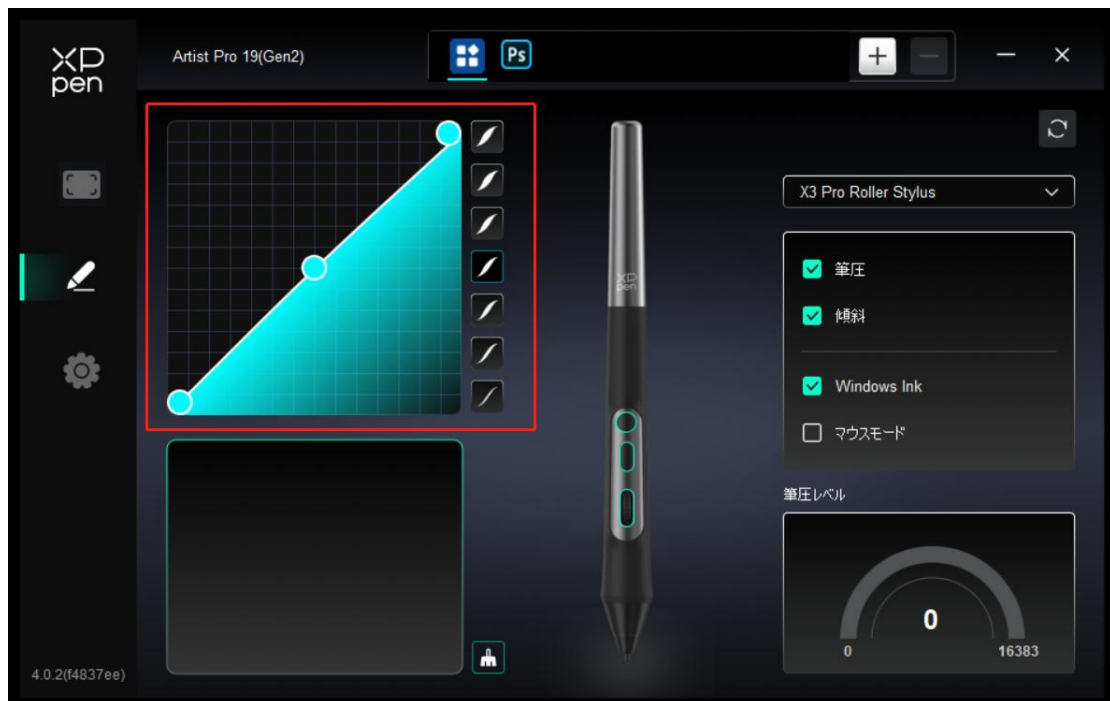
ペンローラーホイールの設定：

ドライバのローラーホイールペンのローラーホイールボタンをクリックして、ホイールの対応する機能と速度を設定します。



### c) 筆圧

筆圧カーブを調整するか、プリセットの筆圧オプションを選択します。



現在の筆圧:



現在の筆圧をテストします。

**筆圧:**

無効にした場合、スタイラスを使用する際に筆圧を感じません。

**傾き検知機能:**

オフにすると、スタイラスの傾き検知機能が無効になります。

**d) その他**

**マウスモード:**

ペンを作業エリアの外に移動させると、マウスを操作するのと同じように、カーソルは離れた位置に残ります。選択すると、デバイス上のカーソルの速度を調整できます。選択しない場合は、デフォルトでペンモードが適用されます。

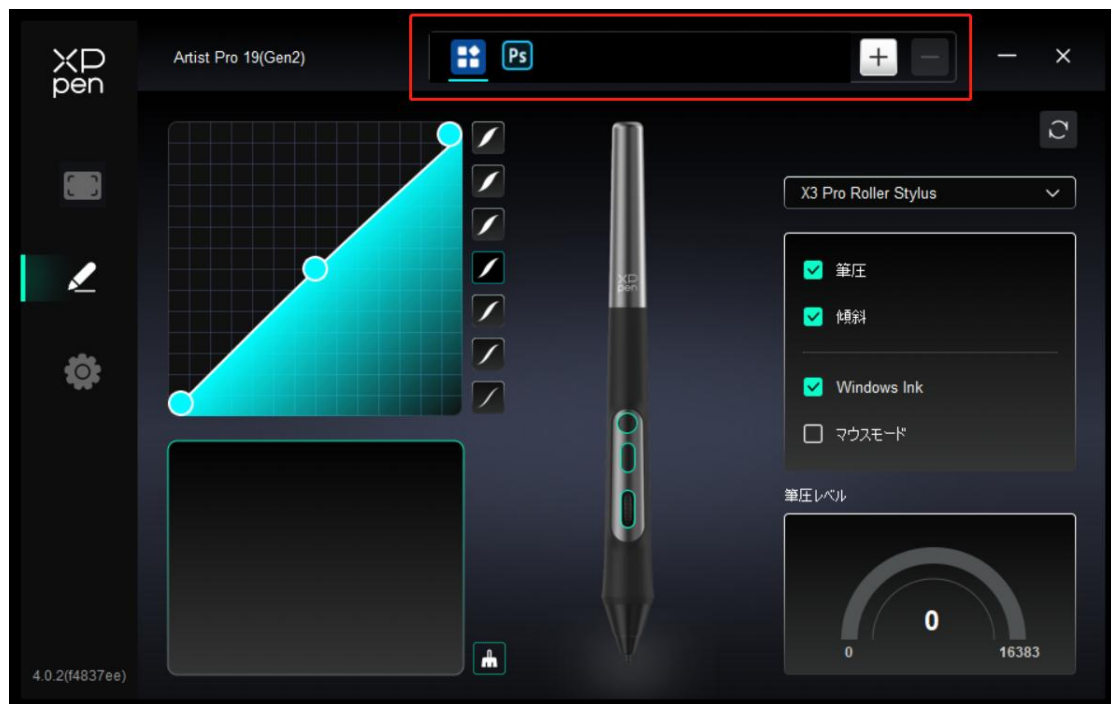
**Windows Ink (Windows のみ) :**

Windows は手書き機能に対応しています。Microsoft Office/Whiteboard またはその他のソフトウェアでこの機能を使用する必要がある場合は、オフにしないでください。

**傾き検知機能:**

オフにすると、スタイラスの傾き検知機能が無効になります。

### 3.3.3 アプリケーション



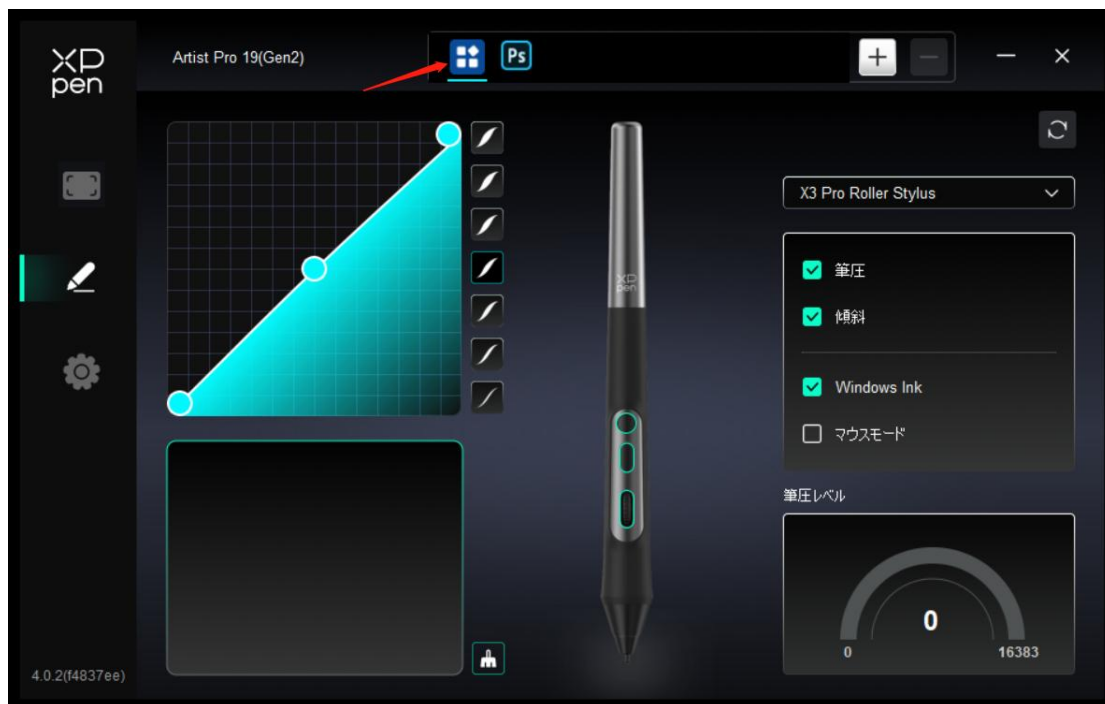
リストからアプリケーションを追加し、アプリケーションにチェックを入れて、ペンキーの機能をカスタマイズします。

例えば、アプリケーションを選択してその設定を変更した場合、そのアプリケーションが使用されるときにのみ変更が有効になります。アプリケーションを切り替えると、ドライバが自動的に認識します。アプリケーションは最大7つまで追加できます。

1. アプリケーションバーの右上にある「+」アイコンをクリックして、アプリケーションリストを開きます。
2. 実行中のアプリケーションから追加するアプリケーションを選択するか、「参照」をクリックしてインストールされているアプリケーションから選択します。
3. 「OK」をクリックすると、選択したアプリケーションが追加されます。

1. 追加したアプリケーションを選択し、アプリケーションバーの右上にある「-」アイコンをクリックしてアプリケーションを削除します。

すべてのアプリケーションを選択すると、他のカスタマイズされていないアプリケーションにも適用されます。



### 3.3.4 設定



#### 設定のインポート・エクスポート：

設定をインポート・エクスポートして、設定を保存したり読み取ったりすることができます。

この機能は、同じオペレーティングシステムでのみ使用できます。

#### ショートカットキー：

無効にした場合、デバイスのすべてのキーの機能は無効になります。

#### プロンプト：

無効にした場合、キーを押しても、画面の下部にキープロンプトは表示されません。

診断ツール:

ドライバの使用中に問題が発生した場合は、診断ツールを使用できます。

フィードバック:

ドライバの使用中去質問やご意見がございましたら、このページからフィードバックをお寄せください。

### 3.3.5 ショートカットリモート設定

a) アプリケーション



設定または使用方法については、上記の液晶ペンタブレット設定を参照してください。

b) ローラーホイール

スクロールホイールの中央にあるボタンを使用して、スクロールホイールのさまざまな機能グループを切り替えることができます。ドライバは、ズーム (デフォルト)、スクロー

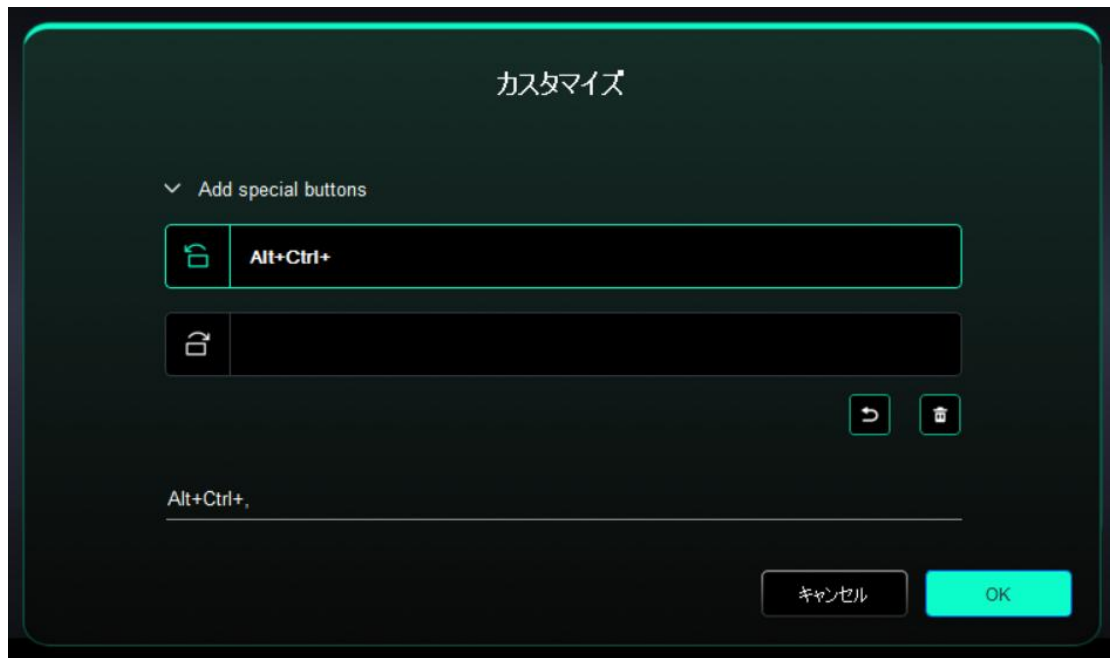
ル、ブラシ、回転の4つのグループのスクロールホイール機能を提供します。



カスタマイズ:



画面上のスクロールホイールの位置をクリックし、プリセット機能のドロップダウンメニューで「カスタマイズ」を選択し、キーボードで設定したいキーまたはキーの組み合わせを入力して、スクロールホイールの時計回りまたは反時計回りの機能をカスタマイズします。



c) 保存/インポート



インポート：

ワイヤレスショートカットキーボードに保存されている設定を、ドライバで現在選択されているアプリケーションにインポートします。

保存：

ドライバで現在選択されているアプリケーションの設定をワイヤレスショートカットキーボードに保存します。

注意: 「インポート」「保存」機能は有線接続で使用してください。「インポート」と「保存」の設定には回転機能は含まれず、同じシステムでのみ有効です。

#### d) ショートカットキーグループ

ドライバには4グループまでショートカットキーを設定できます。ショートカットキーの第1グループは、デフォルトで使用されます(無効にすることはできません)。その他の有効にしていないキーグループの初期機能は、第1グループと同じです。キーグループごとに異なる機能をカスタマイズできます。有効にした後、「キーグループスイッチ」で「I/II/III/IV」の有効にしたグループを順番に切り替えられます(デフォルトはK1キーで切り替え、他のキーにカスタマイズできます)。

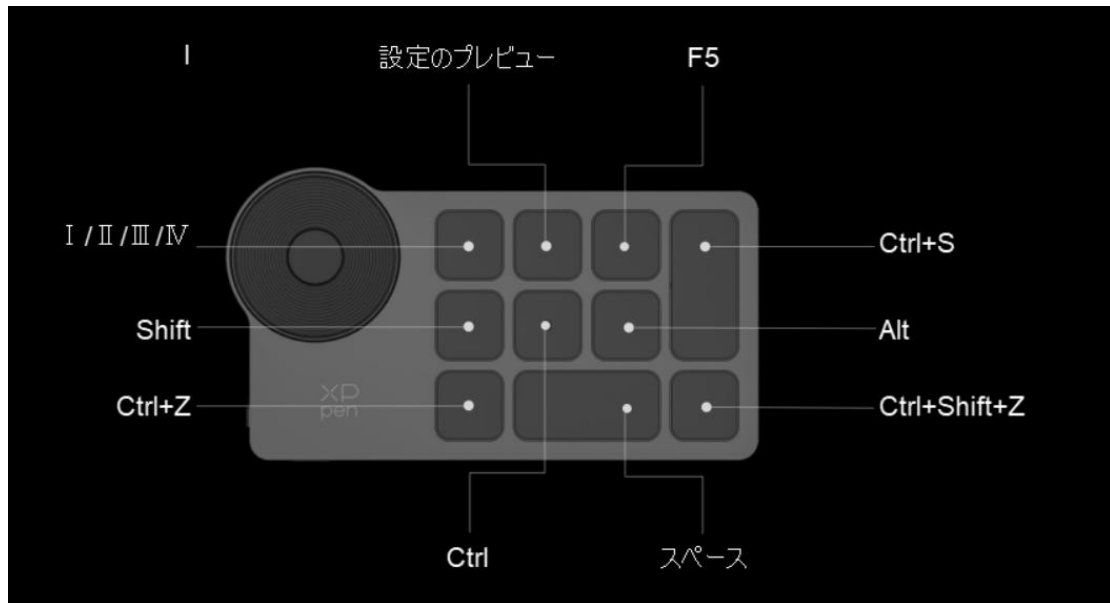


#### e) カスタマイズ

デバイス画像上の対応するボタンをクリックして、その機能をカスタマイズします。設定または使用方法については、上記を参照してください。

#### f) プレビューの設定





ショートカッターリモートのK2 を押して、使用中のキーグループ機能を確認します。ドライバで有効になっていないキーグループを選択すると、グループ I の主要な機能がデフォルトで使用されます。右上隅の閉じるアイコンをクリックし、プレビューウィンドウを閉じます。

## g) 設定



### 設定のインポート・エクスポート：

インポート・エクスポート設定の方法を使用して、設定された機能の設定値を読み取りま

たは保存します。この機能は、同じオペレーティングシステムでのみサポートされています。

#### **診断ツール:**

ドライバの使用中に問題が発生した場合は、診断ツールを使用できます。

#### **フィードバック:**

ドライバの使用中去質問やご意見がございましたら、このページからフィードバックをお寄せください。

#### **プロンプト:**

オフにすると、ボタンを押しても、画面の下部にボタンプロンプトは表示されません。

#### **ショートカットキー:**

オフにすると、デバイス上のすべてのボタン機能が無効になります。

## **4.ドライバのアンインストール**

### **4.1 Windows**

Start -> Settings -> Apps -> Apps & Features に移動し、「Pentablet」を選択し、画面の指示に従って「Unload」を左クリックします。

### **4.2 MacOS**

[Go]-> [Applications] に移動し、XPPen を選択し、画面の指示に従って「UninstallPenTablet」をクリックします。

### **4.3 Linux**

Deb: 「sudo dpkg -r XPPenLinux」を入力し、コマンドを実行します。

Rpm: 「sudo rpm -e XPPenLinux」を入力し、コマンドを実行します。

Tag.gz: ファイルを解凍します。コマンド「sudo」を入力します。「uninstall.sh」をウインドウにドラッグしてコマンドを実行します。

## よくある質問

1. 液晶ペンタブレットに何も表示されないか、黒い画面が表示される。
  - 1) デバイスが電源に正しく接続されているかをご確認ください。
  - 2) ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。
  - 3) 電源インジケータがブルーになっているかをご確認ください。そうでない場合は、ケーブルをチェックしてデバイスを再起動してください。
  - 4) 信号が不安定な場合は、ケーブルポートが安定しているかをご確認ください。
2. コンピュータでデバイスが認識されない。
  - 1) コンピュータで使用している USB ポートが機能しているかをご確認ください。正常に機能していない場合は、別の USB ポートを使用してください。
3. スタイラスが動作しない。
  - 1) デバイスに付属していたスタイラスを使用しているかをご確認ください。
  - 2) ドライバが正しくインストールされており、ドライバのペンの設定が正常であるかをご確認ください。
4. カーソルを動かすことができるが、描画ソフトは筆圧を感知できない。
  - 1) 描画ソフトが筆圧に対応しているかどうかをご確認ください。
  - 2) XPPen のウェブサイトから最新のドライバインストールファイルをダウンロードして、ドライバの筆圧が正常かどうかをご確認ください。
  - 3) ドライバをインストールする前、ウイルス対策ソフトウェアとグラフ

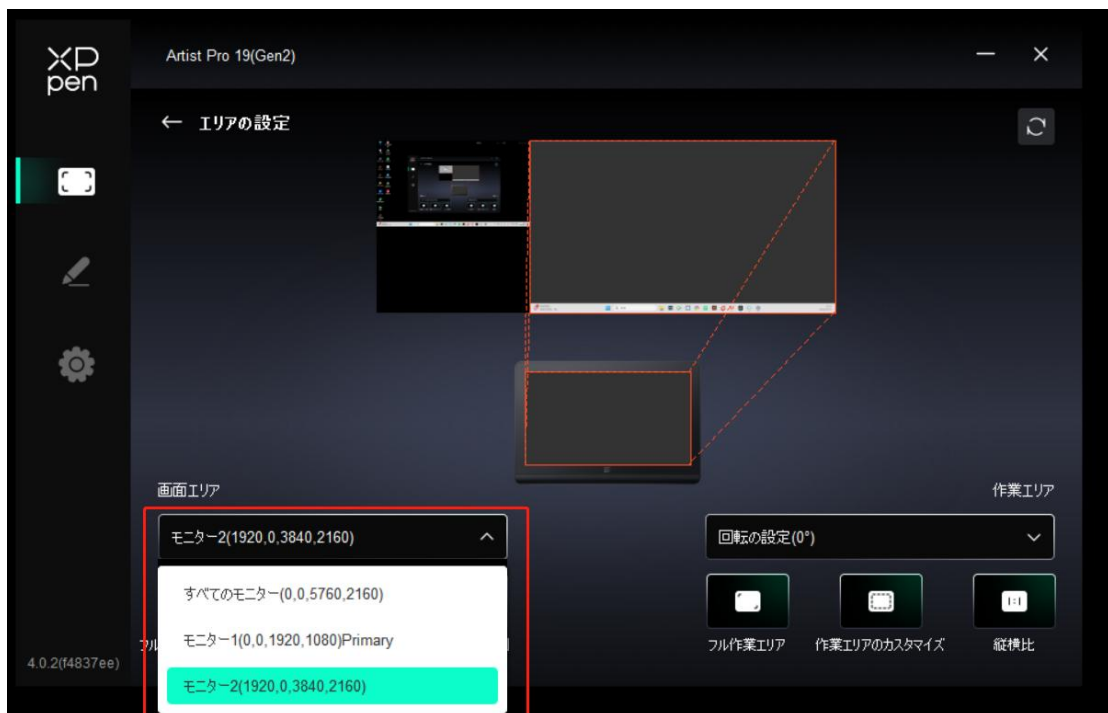
ックソフトウェアを終了してください。

- 4) インストールの前、他ブランドの液晶ペンタブレットのドライバをアンインストールしてください。
- 5) インストール完了後、コンピュータを再起動してください。
- 6) ドライバの筆圧が正常な場合は (Windows: ドライバのペンの設定で Windows Ink が有効になっていることを確認)、描画ソフトを実行してもう一度テストしてください。

## 5. カーソルオフセット。

1) ドライバを使用して再校正を行ってください。

2) 画面拡張モードの使用時にカーソルが大きくずれている場合は、ドライバ液晶ペンタブレット---作業エリア---画面エリアに移動し、液晶ペンタブレット (モニタ 2) がデフォルト画面として選択されているかをご確認ください。



## 6. ソフトを使用して描画するときの線の遅延。

コンピュータの設定 (CPU と GPU) が、インストールされている描画ソフトの推奨設定要件を満たしているかを確認し、描画ソフトの公式サイトに掲載されている「よくある質問」を参照し、関連機能を設定して最適化

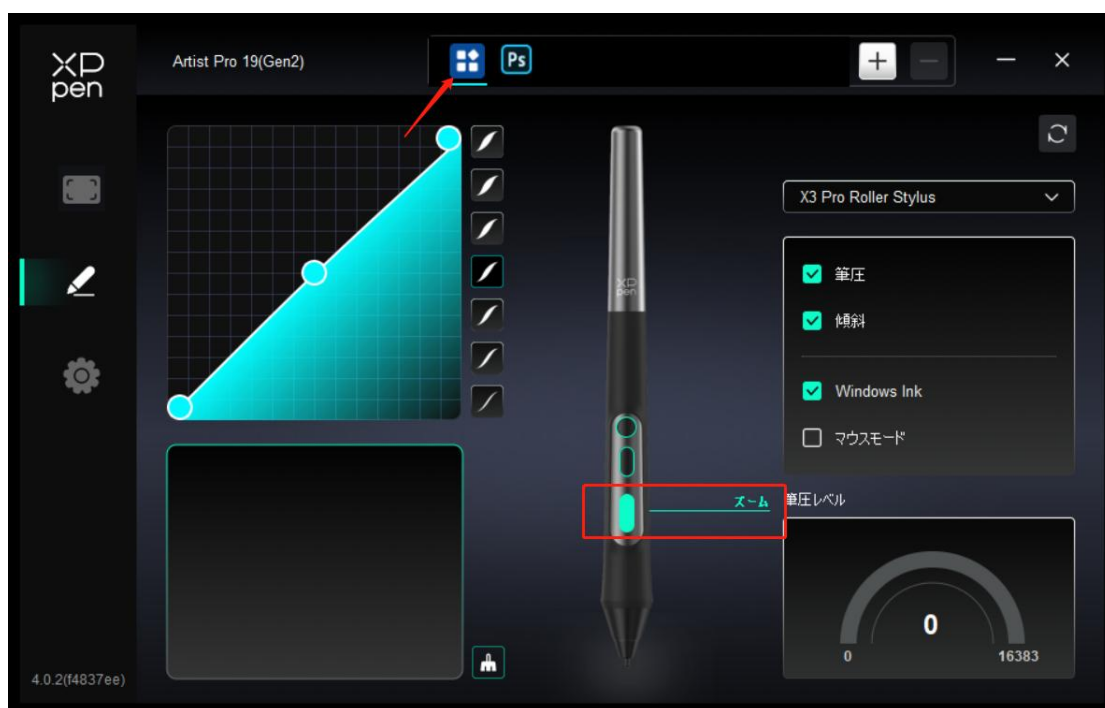
してください。

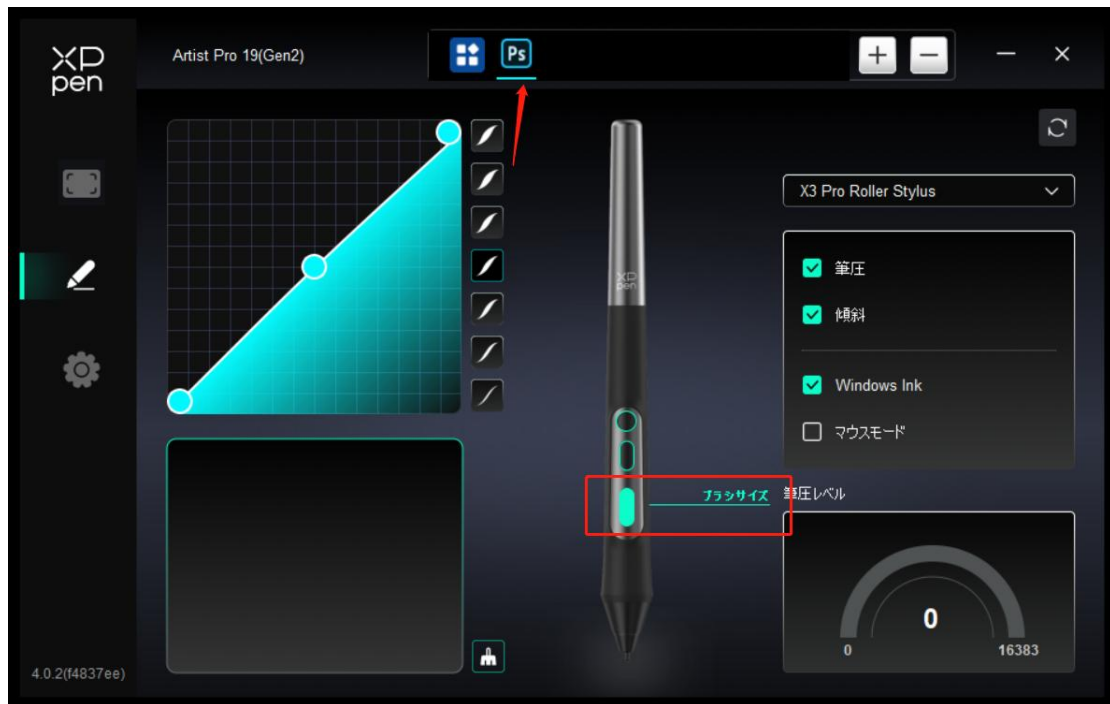
## 7.スタイラスのショートカットキーが無効になっている。

1) スタイラスの先端と液晶ペンタブレットの作業エリアとの距離が 10mm 以上あるかをご確認ください。距離が大きすぎると、ペンはアクティブにならず、機能しません。

2) ペンのショートカットキーの機能を設定しても無効な場合は、使用時に選択したアプリケーションが、設定したアプリケーションのショートカットキーグループであるかをご確認ください。

\*次の図を参照してください。PS インターフェイスのスクロールホイール機能は、通常のインターフェイスのスクロールホイール機能とは異なります。

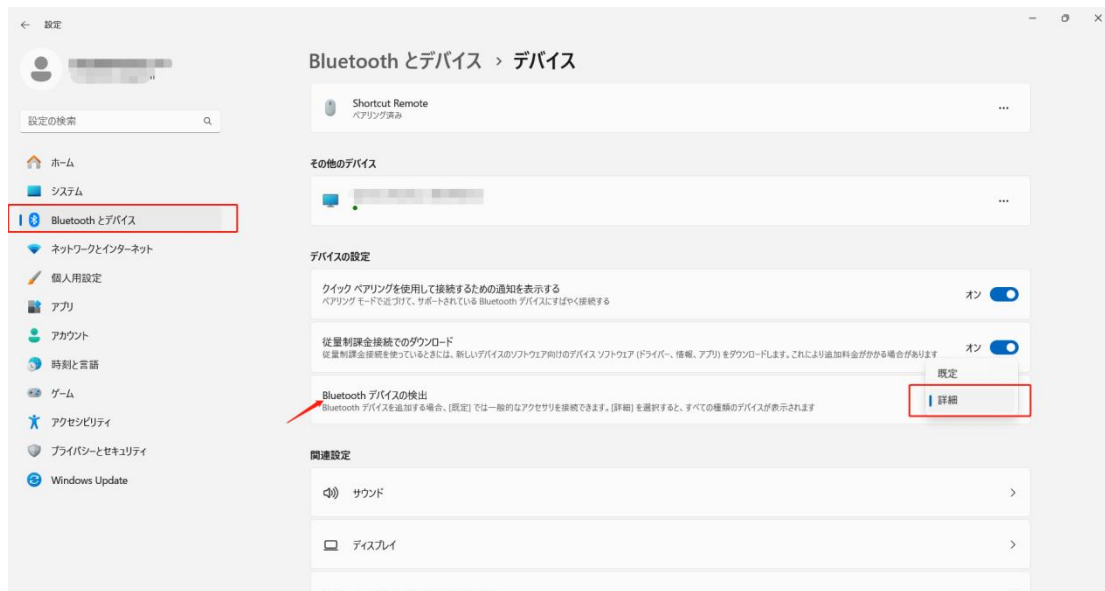
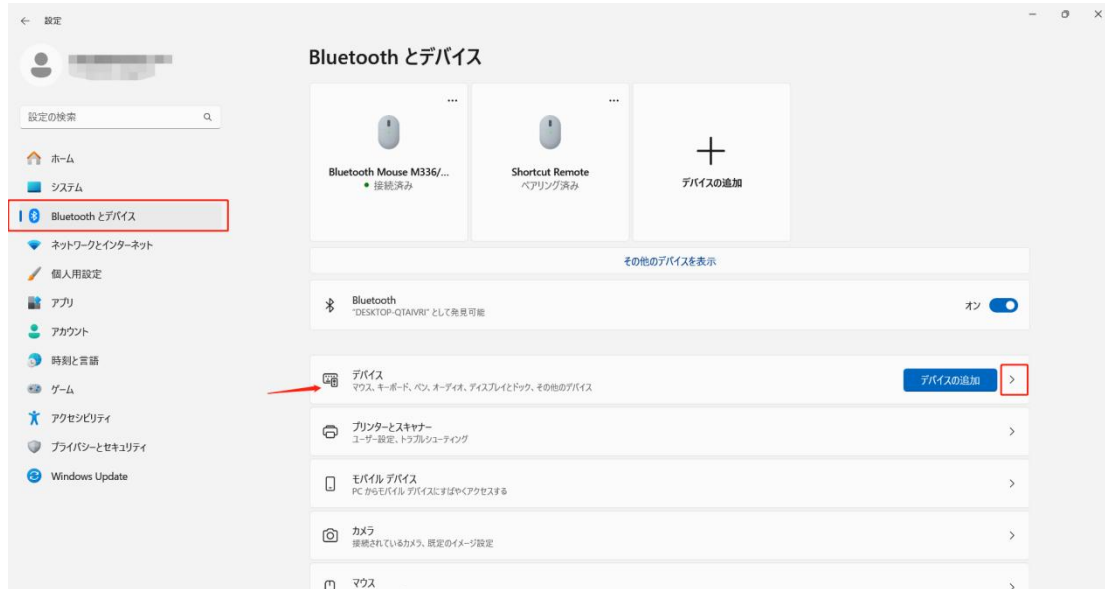




8.Windows コンピューターは、Bluetooth 経由で「ショートカット リモート」デバイスを検索できません。

ステップ 1: コンピューターのシステム設定を開き、Bluetooth とデバイス----->デバイスを選択して、拡張オプションを開きます。

ステップ 2: 「Bluetooth デバイスの検出」オプションを選択し、設定を「詳細」オプションに変更します。



さらにサポートが必要な場合は、以下の方法でお問い合わせください。

ウェブサイト: [www.xp-pen.jp](http://www.xp-pen.jp)

電子メール: [servicejp@xp-pen.com](mailto:servicejp@xp-pen.com)